

2025(令和7)年度 授業計画

服飾専門課程 高度アパレル専門科 4年次

目 次

【1】	服飾造形・実習Ⅳ	8401
【2】	卒業制作	8402
【3】	ファブリックデザインⅡ	8403
【4】	ダイイングデザインⅡ	8404
【5】	アパレルCGⅣ	8405
【6】	パターンメイキング演習Ⅱ	8406
【7】	実践商品企画	8407
【8】	ブランドマネジメント	8408
【9】	特別講義Ⅳ	8409

服飾造形・実習Ⅳ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 4年 通年(前期) 必修 (15単位 演習／実習・実技)

■授業の方針・概要

1年～3年と通して学んだクリエーションやテクニックの集大成としてコンセプトに基づいたオリジナリティのある作品を制作する。授業担当の現役コレクションデザイナー／パタンナーとしての実務経験を生かし、学生の個性を尊重し、一貫した独自のクリエーションを作り上げることと、産学連携の商品企画のように、グループワークを通して必要な協調性や責任感を持ちながらの作業を進める。

■到達目標（学修成果）

アイテム制作を通して卒業コレクションをまとめ上げるための創造力を身に付ける事と、産学連携では「商品作り」という観点から1年後の自分を見据えて学ぶ。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。創造性及び企画力を身に付ける。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

それぞれの工程で点検し作品返却時に講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を適宜配布

■参考文献

ドレメ式原型、SEWING I、II、III、IV、ドレメファッション造形講座、PATTERN MAKING I、II、ドレメセミナーテキスト、各種ファッション雑誌など

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日（15：45～16：45）5302教室（第5校舎3階）

■備考

日程及び内容を変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 担当者	自分のブランドコンセプトに基づいたアイテム考案	予習：市場調査でトレンドを探る	30分
2回 担当者	コンセプト、テーマの立案、デザイン考案、素材イメージ、研究するテーマを探す	〃	30分
3回 担当者	表現方法の研究 パターンの研究 テキスタイルの研究	予習：図書館またはインターネットで様々な技法を探る	60分
4回 担当者	アイテム48型のデザイン考案	予習：平絵の描き方	40分
5回 担当者	〃	〃	40分
6回 担当者	〃 ポートフォリオにまとめていく	予習：構成を考える	30分
7回 担当者	製図	予習：パターンメイキング	30分
8回 担当者	〃	〃	30分
9回 担当者	トワール制作	〃	30分
10回 担当者	〃	予習：テキスタイルサンプル	60分
11回 担当者	〃	予習：部分縫いサンプル	60分
12回 担当者	〃	〃	60分
13回 担当者	トワール仮縫い	予習：テキスタイル探し	60分
14回 担当者	〃	〃	60分
15回 担当者	〃	〃	60分

服飾造形・実習Ⅳ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 4年 通年(後期) 必修 (15単位 演習／実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 担当者	トワル仮縫い	予習：テキスタイルサンプル	30分
2回 担当者	〃	〃	30分
3回 担当者	パターン修正、工パタ	復習：トワル修正箇所の再確認	30分
4回 担当者	工パタ	予習：縫製手順	30分
5回 担当者	裁断～縫製へと仕上げていく	〃	30分
6回 担当者	〃	予習：部分縫い	30分
7回 担当者	〃	予習：サンプル	30分
8回 担当者	〃	〃	30分
9回 担当者	〃	〃	30分
10回 担当者	〃	予習：ポートフォリオのまとめにかかる	30分
11回 担当者	〃	予習： 〃	30分
12回 担当者	〃	〃	30分
13回 担当者	〃	予習：ブースで準備するもの	30分
14回 担当者	〃	〃	30分
15回 担当者	提出 プレゼンテーションの準備	〃	30分

卒業制作

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科

4年

後期

必修

(4単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

個々のオリジナリティ性を活かして、今までに学んできた様々な知識、技術、クリエイションの集大成として、独創性のある作品群を制作。

他の授業と連携をとりながら、テキスタイルからオリジナルを目指しテーマとコンセプトに基づいた5体以上の作品を制作する。最終作品として、トータルでコーディネートした群像で発表会に挑む。

■到達目標（学修成果）

作品制作ではクリエイション性やオリジナリティ性を、また、ブースにおいてプレゼンテーションする事で自分の世界観を表現する方法を学ぶ。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。創造性及び企画力、プレゼンテーション力を身に付ける。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

卒業制作発表会の審査会において、外部による審査員に評価をいただく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	20%

■教科書

必要に応じ資料を適宜配布

■参考文献

ドレメ式原型、SEWING I、II、III、IV、ドレメファッション造形講座、PATTERN MAKING I、II、ドレメセミナーテキスト、各種ファッション雑誌など

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日（15：45～16：45）5302教室（第5校舎3階）

■備考

日程及び内容を変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡邊	コンセプト・テーマ立案・デザイン考案 ひとり5体以上を、自分のブランドコンセプトに基き考案	予習：市場調査	30分
2回 渡邊	素材イメージ・素材サンプル制作	予習：トレンド検索	30分
3回 渡邊	製図	復習：基礎テキスト確認	30分
4回 渡邊	トワール制作・部分縫い	予習：素材探し	30分
5回 渡邊	テキスタイルサンプル	予習： "	30分
6回 渡邊	トワール仮縫い、パターン作成	予習：ディテール考案	30分
7回 渡邊	"	予習：テキスタイル考案	30分
8回 渡邊	"	予習： "	30分
9回 渡邊	裁断・縫製・計画表を作る	予習：部分縫い	30分
10回 渡邊	"	予習：縫製の手順確認	30分
11回 渡邊	"	"	30分
12回 渡邊	"	"	30分
13回 渡邊	"	"	30分
14回 渡邊	"	"	30分
15回 渡邊	" 展示ブースについて	予習：ブースのイメージ確認	30分
16回 渡邊	"	"	30分
17回 渡邊	仕上げ	"	30分
18回 渡邊	ポートフォリオのまとめ	予習：作品の撮影	30分
19回 渡邊	ポートフォリオに実物写真を入れる	復習：ポートフォリオ確認	30分
20回 渡邊	作品提出 全てトータルコーディネートでプレゼンテーション	予習：プレゼンテーションの練習	30分

ファブリックデザインⅡ

赤澤 結花

高度アパレル専門科 4年 通年(前期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

オリジナルのデザインをテキスタイルから考えられるようにするために、3年までに学んだウィービングに加え、ニットも取り入れる。棒針とカギ針編みの基本から応用までを学び、クリエイションまで繋げていく。また、ファブリックデザインから実物制作することで、よりクリエイションの幅を広げアパレル素材に対する感性を磨く。

■到達目標（学修成果）

ファブリックからデザインし素材を研究することで、オリジナリティのある表現力を身につける

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業に必要な科目。アパレル素材に対する感性を磨くことは、より充実した作品制作とアパレル企業で働くことに役立つ。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

課題提出物の返却時に講評をする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

プリントの配布

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

毎週：月曜日（16時00分～17時00分）5201教室（第5校舎2階）

■備考

授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	編物 棒針編みの基本 サンプルを編む	復習：できるところまで進める	30分
2回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
3回 赤澤	〃	復習：仕上げ	30分
4回 赤澤	編物 カギ針編みの基本 サンプルを編む	復習：できるところまで進める	30分
5回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
6回 赤澤	〃	復習：仕上げ	30分
7回 赤澤	編物 応用 実物制作	復習：できるところまで進める	30分
8回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
9回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
10回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
11回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
12回 赤澤	〃 ～仕上げ	予習：提出準備	30分
13回 赤澤	民族衣装①	予習：民族服のリサーチ	30分
14回 赤澤	民族衣装②	復習：できるところまで進める	30分
15回 赤澤	民族衣装③	予習：提出準備	30分

ファブリックデザインⅡ

赤澤 結花

高度アパレル専門科 4年 通年(後期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 赤澤	卒業制作に向けたファブリックデザインの考案	予習：デザイン資料を集める	30分
2回 赤澤	イメージボードの制作	予習：材料の準備	30分
3回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
4回 赤澤	サンプル制作	予習：材料の準備	30分
5回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
6回 赤澤	〃	復習：仕上げ	30分
7回 赤澤	実物制作	予習：材料の準備	30分
8回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
9回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
10回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
11回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
12回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
13回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
14回 赤澤	〃	復習：できるところまで進める	30分
15回 赤澤	〃	予習：提出準備	30分

ダイイングデザインⅡ

加藤 良次

高度アパレル専門科 4年 前期 必修 (2単位 講義／実習・実技)

■授業の方針・概要

アパレル業界で使われる服地のほとんどは多様な染色技術によって鮮やかな色彩と柄で表現されている。無地染や伝統工芸染色品を除くほとんどのテキスタイルには捺染またはプリントと呼ばれる染色技術が用いられている。この技術は生地素材感を生かし、自由な色彩による構成が可能で豊かなテキスタイルを作ることができる。

■到達目標（学修成果）

この授業ではプリント染色技術とプリントデザインの基礎から応用まで、作品制作を通し、知識と技術を学修する。捺染技法基礎では製版技術、顔料捺染を修得する。応用では染料捺染によるリピートプリント服地またはスカーフなどの染色作品を制作する。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業認定に必要なだけでなく今後の服飾造形への応用が出来、染色業者との共通認識を得ることができる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出作品と写真で客観的に見る。色彩感覚、形態、構成力、表現力、技術、理解度を考え、作品講評する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	10%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

オリジナルプリント

■参考文献

必要に応じて提示する

■オフィスアワー・研究室

前期および後期：火曜日放課後 第5校舎地階染色研究室（原則開講日の放課後）

■備考

始業時に作業の説明があるため遅刻は厳禁。

実習費を徴収する。被染布、Tシャツなども別途購入。作業着、靴を各自準備し、染料等による汚染は自己責任とする。

化学物質過敏症などアレルギーその他、疾患のあるものは事前に申し出ること。授業計画は進行状況により変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 加藤	オリエンテーション(授業内容説明、諸注意)、染色講義、紗張り(簡易紗張り器と半自動紗張り機)	予習：デザインソースを収集しておく	60分
2回 加藤	捺染技法基礎1 直接捺染法による顔料スクリーン捺染 / 紗洗淨、感光乳剤塗布、製版、修正	予習：デザイン準備 復習：作業の確認	70分
3回 加藤	捺染技法基礎2 紗洗淨、感光乳剤塗布、製版、修正を終了 / プリント準備	復習：作業の確認	30分
4回 加藤	捺染技法基礎3 顔料によるプリント/ 色糊調製、プリント、後処理、片付け	復習：作品まとめ	30分
5回 加藤	捺染技法応用1 技法説明、デザインエスキース、ポジフィルム原稿作成、リピート確認	予習：デザイン準備 復習：作業の確認	70分
6回 加藤	捺染技法応用2 紗張り(半自動紗張り機)ポジフィルム制作、紗洗淨、感光乳剤塗布、製版、修正	予習：デザイン準備 復習：作業の確認	70分
7回 加藤	捺染技法応用3 紗張りポジフィルム制作、紗洗淨、感光乳剤塗布、製版、修正	予習：デザイン決定	60分
8回 加藤	捺染技法応用4 紗張り)ポジフィルム制作、紗洗淨、感光乳剤塗布、製版、修正	復習：作業の確認	30分
9回 加藤	捺染技法応用5 被染布前処理、色糊調製、カラーマッチング、プリント	復習：作業の確認	30分
10回 加藤	捺染技法応用6 被染布前処理、色糊調製、カラーマッチング、プリント	復習：作業の確認	30分
11回 加藤	捺染技法応用7 被染布前処理、色糊調製、カラーマッチング、プリント	復習：作業の確認	30分
12回 加藤	捺染技法応用8 プリント、蒸熱処理、水元(水洗)、後処理、仕上げ	復習：作業の確認	30分
13回 加藤	捺染技法応用9 プリント、蒸熱処理、水元(水洗)、後処理、仕上げ	復習：作業の確認	30分
14回 加藤	捺染技法応用10 プリント、蒸熱処理、水元(水洗)、後処理、仕上げ	復習：作業の確認	30分
15回 加藤	まとめ 講評、撮影、提出	予習：講評準備 復習：資料作成	100分

アパレルC GⅣ

4年

■授業の方針・概要

授業担当者のアドバイザーとしての、□経験と実績を活かし、パソコンスキル□、構成力を高める。 各自

■到達目標（学修成果）

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

■成績評価の方法・基準

授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし

■参考文献

必要に応じてインターネットを、使用

■オフィスアワー・研究室

月曜日(13:00～14:35)6201教室

■備考

授業内容は変更することもある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	必要時間
		具体的内容（予習・復習等）	
1回 戸井田	オリエンテーション	CGを使用した資料作り解説	90分
2回 戸井田	プレゼン□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□作成	90分
3回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
4回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
5回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル確□作成	90分
6回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
7回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成 復習 進捗確認	90分
8回 戸井田	プレゼン確資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
9回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
10回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
11回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
12回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
13回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
14回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成	90分
15回 戸井田	プレゼン□□資料作成	平絵作成、CGビジュアル□□作成 復習 進捗確認	90分

アパレルC GIV

多田 純子

高度アパレル専門科 4年 通年(後期) 必修 (4単位 演習)

■授業の方針・概要

ファッション業界のみならず、デザイン業務においてスタンダードアプリケーションソフトであるIllustrator・Photoshopのスキルアップを目指し、さまざまな応用テクニックを実践していく。それぞれの目的に沿ったイメージを表現できる活用方法を学ぶ。(作品のポートフォリオやスタイルブック等を効果的に見せるページ構成力をつける)

■到達目標 (学修成果)

Illustrator・Photoshopを使い、さらに表現方法の幅を拡げ、効果的・効率的に操作できるようになる。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目。
Illustrator・Photoshopを効果的に使いこなす業務をスムーズに遂行する為のスキルが身につく。

■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内で不明点がある場合、その場で個人指導を行う。
作品はPDFデータ提出、個別講評でフィードバックする。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

随時、授業に合わせてプリント(データ)を配布する。

■参考文献

随時、授業内容に合わせネットから検索。

■オフィスアワー・研究室

9/15～1/29 毎週木曜日(10時20分～12時00分) 1022 CG教室

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 多田	ポートフォリオの必要性、考え方	資料配布、解説	30分
2回 多田	レイアウトの基本(編集とデザイン、アートボード)	資料配布、解説	30分
3回 多田	レイアウト考案・ラフ作成 ① 手描き 素材集め	復習: データ整理・確認	30分
4回 多田	レイアウト考案・ラフ作成 ② 手描き 素材集め	復習: データ整理・確認	30分
5回 多田	デザイン画・ハンガーイラスト・画像レタッチ ①	復習: データ整理・確認	30分
6回 多田	デザイン画・ハンガーイラスト・画像レタッチ ②	復習: データ整理・確認	30分
7回 多田	デザイン画・ハンガーイラスト・画像レタッチ ③	復習: データ整理・確認	30分
8回 多田	画像配置(デザイン・レイアウト) ①	復習: データ整理・確認	30分
9回 多田	画像配置(デザイン・レイアウト) ②	復習: データ整理・確認	30分
10回 多田	画像配置(デザイン・レイアウト) ③	復習: データ整理・確認	30分
11回 多田	画像配置(デザイン・レイアウト) ④	復習: データ整理・確認	30分
12回 多田	画像配置(レイアウト) ④ 12月最終日、途中経過提出	復習: データ整理・確認	30分
13回 多田	画像配置(レイアウト) ⑤ ブラッシュアップ	復習: データ整理・確認	30分
14回 多田	画像配置(レイアウト) ⑥ ブラッシュアップ	復習: データ整理・確認	30分
15回 多田	まとめ・提出	復習: 学習内容総括	30分

パターンメイキング演習Ⅱ

仙木 沙紀

高度アパレル専門科 4年 前期 必修 (2単位 演習)

■授業の方針・概要

パターンメイキング技術検定試験対策のために行う。パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブックの内容を理解し受験に対する訓練として、繰り返し理論問題の模擬試験を行う。実技試験対策としてはパターンメイキング及びトワリングを時間を決めて模擬試験を行う。

■到達目標（学修成果）

パターンメイキング技術検定試験2級全員合格を目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

パターンメイキング技術検定試験2級を受けるため。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業の中で質問に答えてその都度解決していく。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	10%

■教科書

なし

■参考文献

パターンメイキング技術検定試験2級ガイドブック

■オフィスアワー・研究室

月曜日（16：00～17：00）

■備考

授業内容は変更する事もある

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 担当	PM技術検定試験2級ガイドブック読み合わせ、解説	予習：ガイドブック読み合わせ	120分
2回 担当	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
3回 担当	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
4回 担当	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
5回 担当	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
6回 担当	理論試験対策として模擬試験、解答	復習：模擬試験、解答	120分
7回 担当	実技試験対策としてパターンメイキングからトワリングまでを行う。	予習：パターン及びトワリング方法	120分
8回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
9回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
10回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
11回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
12回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
13回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
14回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分
15回 担当	実技試験対策 模擬試験	復習：模擬試験、解答	120分

実践商品企画

渡辺 直樹

高度アパレル専門科 4年 通年(前期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

アパレル現場でプレゼンボードの制作をしていた経験から、様々な具体例を実演・解説することで、学生のプレゼンにおけるビジュアルセンスの向上などをサポートする。また、企画案と実物の完成度合いを客観的に捉えるために必要な視点を指摘する方針である。

■到達目標（学修成果）

掲げたテーマを繰り返し掘り下げ、深度を求めることで、作者がどこまで踏み込めるかを訓練する。サンプル制作の前に検討し尽くす姿勢を身につける事で、現場の即戦力となれることを目指す。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッション分野の細部にわたるマネジメント力を備えるために必要な科目である。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

ほぼ全ての時間が制作途中となるので、個々に必要と思われるタイミングで都度アドバイスを伝える。提出物を評価、採点して後日返却。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	20%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

■教科書

なし。

■参考文献

授業内で適宜示す。

■オフィスアワー・研究室

授業中にリクエストがあれば授業後の1時間ほどは対応可能。

■備考

各課題の進捗により課題内容は変更になることがあります。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡辺	①自作ブランドのビジュアルイメージ素材の収集（新規要素の発見・追加）	予習：端末準備 復習：分析	30分
2回 渡辺	自作ブランドのビジュアルイメージ構成検討	復習：端末で構成	30分
3回 渡辺	自作ブランドコンセプトのメインビジュアルの決定	復習：端末で構成	30分
4回 渡辺	自作ブランドのポジショニング検討	復習：端末で構成	30分
5回 渡辺	自作ブランドのカラー・素材検討	復習：端末で構成	30分
6回 渡辺	自作ブランドのルックススケッチ出し（ルック1～4）	復習：スケッチ検討	30分
7回 渡辺	自作ブランドのルックススケッチ出し（ルック5～8）	復習：スケッチ検討	30分
8回 渡辺	自作ブランドのルックススケッチ出し（ルック9～12）	復習：スケッチ検討	30分
9回 渡辺	自作ブランドのルックススケッチ集を再検討・見直し	復習：スケッチ検討	30分
10回 渡辺	②ボード加工 表紙・コンセプト・マップ・ポジショニングなど素材確認	復習：端末でデータ検討	30分
11回 渡辺	ボード加工 表紙・コンセプト・マップ・ポジショニングなどの編集	復習：端末でデータ検討	30分
12回 渡辺	ボード加工 ルックススケッチなどの加工編集	復習：端末でデータ検討	30分
13回 渡辺	ボード加工 ルックススケッチ、平絵などの加工編集	復習：端末でデータ検討	30分
14回 渡辺	③トワル検討 イメージ通りか検討し修正点を見つける	復習：トワルの画像保存	30分
15回 渡辺	トワル検討のフィードバックによるスケッチなどの修正	復習：トワルの修正確認	60分
16回 渡辺	トワル検討後のコンセプト全体の方向性を確認	復習：トワルの修正確認	60分
17回 渡辺	④ショッパー・タグなどのデザイン ラフ出し	予習：リサーチ実行	30分

実践商品企画

渡辺 直樹

高度アパレル専門科 4年 通年(後期) 必修 (3単位 実習・実技)

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 渡辺	ショッパー・タグなどのデザイン 制作加工作業	復習：端末でデータ検討	30分
2回 渡辺	ショッパー・タグなどのデザイン 仕上げ	復習：端末でデータ検討	30分
3回 渡辺	⑤アクセサリ・付属・靴などの線画起こし	予習：サンプル画像準備	30分
4回 渡辺	アクセサリ・付属・靴などの線画編集作業	復習：端末でデータ検討	30分
5回 渡辺	アクセサリ・付属・靴などの線画 仕上げ	復習：端末でデータ検討	30分
6回 渡辺	⑥卒業制作発表に向けて（プレゼン資料の最終確認）	復習：不足点の確認	30分
7回 渡辺	実物制作の過程を記録したデータをチェック コンセプト確認 修正	復習：端末でもデータ編集	30分
8回 渡辺	実物制作の過程を記録したデータをチェック コンセプト確認 修正	復習：端末でもデータ編集	30分
9回 渡辺	プレゼン資料の出力準備 実物着用写真の挿入	復習：端末でもデータ編集	30分
10回 渡辺	プレゼン資料の出力準備 実物着用写真の挿入	復習：端末でもデータ編集	30分
11回 渡辺	プレゼン資料の出力	復習：端末でもデータ編集	30分
12回 渡辺	出力したプレゼン資料の仕上げ・素材添付など	復習：仕上がりの確認	30分
13回 渡辺	プレゼンテーション演習（一部を提出する）	復習：不備がないか確認	30分
14回 なし	なし	なし	30分
15回 なし	なし	なし	60分

ブランドマネジメント

福田 宜央

高度アパレル専門科 4年 前期 必修 (3単位 実習・実技)

■授業の方針・概要

㈱サンエー・インターナショナル（現 ㈱T S I）でのマーチャンダイザーや海外事業運営の実務経験を基に、アパレル企業で行われるブランド運営に必要な基礎的な構成要素を解説し、経営的な側面も理解しながら各自がオリジナルブランドの確立を想定した企画を立案、企画書を作成する。具体的に特定のシーズンを設定して、月度別のアイテム構成計画や売上予測に至るマーチャンダイジングの細部の関連性を確認しながら企画立案していく。マネジメント（運営管理・経営）の基礎知識を習得しながらシーズン計画書を作成し、対外的にオリジナルブランドのプレゼンテーションを行う。

■到達目標（学修成果）

ブランド運営を仮定したコンセプトの設定や売上計画など、オリジナルブランドの全体像を企画書として具体的に表現できるようになる。「自分がイメージするブランドはこのようなブランドです」ということを各自が作成する企画書で対外的に説明できるようになり、プレゼンテーションでそのブランドを第三者が理解・認識できるところを目標とする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目となる。授業を通してアパレル企業が行うブランド運営の仕組みや販売計画の立案方法など、卒業後の就業に関わるブランドビジネスの総合的な知識を身に付ける。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内の確認事項や提出書類の返却時など、内容に応じた要点を踏まえてコメントにてフィードバックを行う。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

なし。授業毎に応じたプリント等を配布。

■参考文献

なし。

■オフィスアワー・研究室

授業終了後、質問等に対応する。

■備考

日程及び授業内容は変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 福田	ガイダンス／ブランドマネジメントについて	復習：当日授業のおさらい	30分
2回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
3回 福田	ブランド運営に必要な5大要素とパーパス	復習：前回授業概要	30分
4回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
5回 福田	シーズン計画書の構成要素	復習：前回授業概要	30分
6回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
7回 福田	売上予算とアイテム構成計画	復習：前回授業概要	30分
8回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
9回 福田	ショップレイアウト、出店計画	復習：前回授業概要	30分
10回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
11回 福田	セールスプロモーションとサービス	復習：前回授業概要	30分
12回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
13回 福田	ブランド運営・シーズン計画のまとめ、企画書作成の仕上げ	復習：前回授業概要	30分
14回 渡邊	前回授業の資料作成実習	復習：授業のまとめ	30分
15回 福田	ブランドプレゼンテーション／総括	復習：全授業の振り返り	30分

特別講義Ⅳ

渡邊 千佳子

高度アパレル専門科 4年 通年 必修 (1単位 講義)

■授業の方針・概要

年間を通してファッション業界で活躍するスペシャリストを招き、アパレル業界の現状からトレンド、企画立案、技術指導等の講義を聞き、常に最新の技術や知識を学ぶことを目標とする。

■到達目標（学修成果）

服飾造形総合演習の授業と連携しながら、自己の知識向上と就職活動に結びつけるようにする。

■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業のために必要な科目である。業界の“今”の現場の話を聴くことによって知識を養い卒業後に活かせる。

■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

講義後に毎回レポートを提出、点検する。

■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

■教科書

必要に応じて資料を配布

■参考文献

なし

■オフィスアワー・研究室

受講後の質問等で対応する。

■備考

日程及び内容を変更することもある。

■授業計画

回数	授業内容(前期)	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 講師	・Quotation トrendセミナー	予習：講義内容について調べる	30分
2回 講師	・YKKセミナー（副資材について）	予習：講義内容について調べる	30分
3回 講師	・NYコレクションtrendセミナー	予習：講義内容について調べる	30分
4回 講師	・色について	予習：講義内容について調べる	30分

回数	授業内容(後期)	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 講師	・trendセミナー	予習：講義内容について調べる	30分
2回 講師	・空間表現について	予習：講義内容について調べる	30分
3回 講師	・VMDについて	予習：講義内容について調べる	30分
4回 講師	・パーソナルカラーについて	予習：講義内容について調べる	30分